

H30	H28	H28	H27	H26	H25	H24	H23
2018	2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道胆振東部地震 ・築地市場移転。豊洲市場開場 ・働き方改革関連法成立 ・2025年大阪万博決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震 ・女性活躍推進法施行 ・文化芸術基本法に食文化が明記される 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震 ・食をテーマにしたミミノ国際博覧会(ミノ万博)開催 ・流行語に「爆買」 ・機能性表示食品制度スタート ・食品衛生法、JAS法、健康増進法を一元化し食品表示法施行 ・地理的表示法施行 	<ul style="list-style-type: none"> ・食をテーマにしたミミノ国際博覧会(ミノ万博)開催 ・スターバックスコヒー鳥取進出で全国制覇 	<ul style="list-style-type: none"> ・「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録される ・2020年東京オリンピック決定 ・日本、TPP交渉に参加 ・東日本大震災復興支援のため復興特別所得税導入 ・消費税5%から8%へ ・インスタグラム日本語版公式アカウント開設 ・バター品薄。生産量は1990年以降最低。背景には国内酪農家の減少とその保護のための輸入量限定政策 ・化粧品、日用品も免税対象に。百貨店の化粧品売り場などに外国人観光客急増 	<ul style="list-style-type: none"> ・「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録される ・2020年東京オリンピック決定 ・日本、TPP交渉に参加 ・東日本大震災復興支援のため復興特別所得税導入 ・消費税5%から8%へ ・インスタグラム日本語版公式アカウント開設 ・バター品薄。生産量は1990年以降最低。背景には国内酪農家の減少とその保護のための輸入量限定政策 ・化粧品、日用品も免税対象に。百貨店の化粧品売り場などに外国人観光客急増 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛レバーの生食用としての販売・提供禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災。原発の放射性物質による被害が広がる ・ユッケによる食中毒発生。死者も出る ・タイの洪水で多数の日系工場が被害を受ける ・リーマンショック後円高進行が続き、1ドル175円32銭の市場最高値を記録

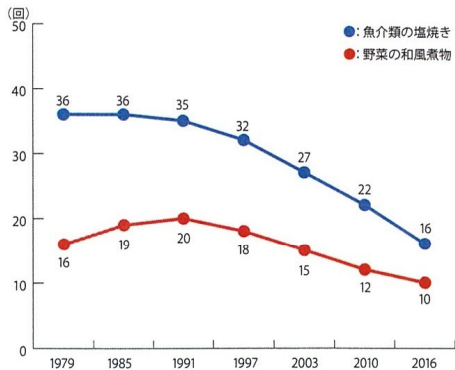
H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16
2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004
<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県で口蹄疫発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーマンショック後の景気後退を受け牛丼、牛めしなどの値下競争が熾烈化 ・消費税率発定 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーマンショック ・ツイッター、フェイスブック日本語版が利用可能となる ・消費者庁発定 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国産冷凍餃子毒物混入事件。冷凍食品大打撃 ・リーマン・ショック ・ツイッター、フェイスブック日本語版が利用可能となる ・消費税率発定 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品偽造事件(不二家、ミートホープ、船場吉兆など)翌年にかけて相次ぐ ・米系投資ファンドの国内企業買収の動き活発化 ・翌年にかけて百貨店の統合相次ぐ(三越・伊勢丹、大丸・松坂屋、阪急・阪神) ・中国産冷凍餃子毒物混入事件。冷凍食品大打撃 ・リーマン・ショック ・ツイッター、フェイスブック日本語版が利用可能となる ・消費税率発定 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少時代に突入 ・食品表示の「品質保持期限」と「賞味期限」が「賞味期限」に統一される ・食育基本法施行 ・「食へログ」スタート 	<ul style="list-style-type: none"> ・米国産牛肉輸入禁止の影響で豚肉輸入が過去最高を記録 ・(東南アジア、中国、米国での)鳥インフルエンザの影響で鶏肉消費が過去最低となる ・新潟県中越地震 ・吉野家一時牛丼販売を中止(原料のほぼ全量が米国産だったため) ・サントリー、緑茶飲料「伊右衛門」発売

社会

食のトレンド

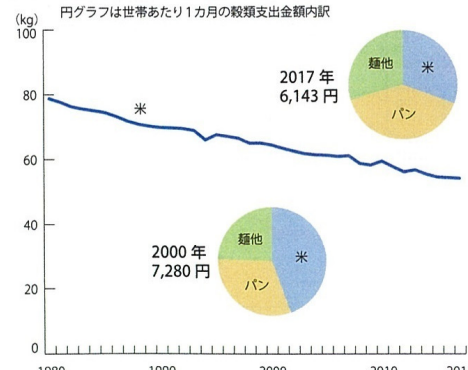
参考：西東秋男【編】『平成食文化史年表』筑波書房

●食卓における、和食の定番料理の登場回数



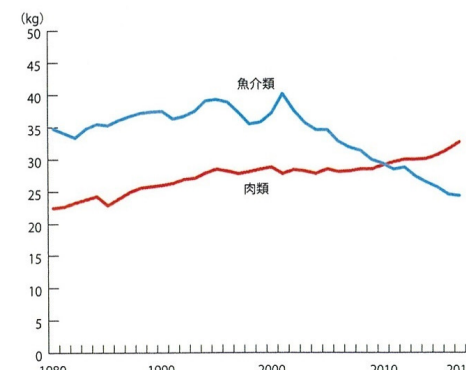
出典：マーケティング・リサーチ・サービス「MRSメニューセンサス」100世帯1日当たりの出現回数

●米の消費量推移(1人当たり、年間)



出典：「食料供給表」家計調査

●魚介類、肉類の消費量推移(1人当たり、年間)



出典：「食料供給表」